

石薬師の蒲桜

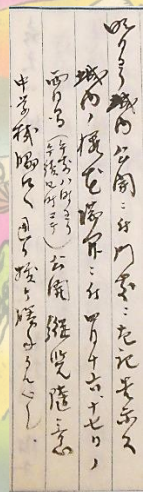
東海道の44番目の宿場、伊勢国石薬師(いしやくし)宿の名所です。
(現在の三重県鈴鹿市石薬師町)



桜はヤマザクラの変種で、現在も季節になると白色の花を咲かせています。
(三重県指定天然記念物)

(年未詳)「東海道五十三対(石薬師)」
松田三左衛門家文書 当館蔵
A0169-03426

1893年(明治26)、最後の藩主松平茂昭(もちあき)の子康荘(やすたか)は、旧福井城に「松平試農場」(現在という農業試験場)をつくりました。



当時の旧福井城は、松平家の私有地でした。そのため、普段は一般に開放されていませんでしたが、1914年(大正3)より、桜の季節に限り一般に開放されるようになりました。
1915(大正4)「雑日記」
松平文庫 福井県立図書館保管
A0143-21632

桜満開! 城内開放!

昔話「花咲か爺さん」の明治時代の絵本です。

ハナオサカセマシヨウ

「シヨジキチ、イ」(正直爺)、「イヌ」(ヨクバリチ、イ) (欲張り爺)、「トノサマ」(この4者の登場人物による勧善懲悪の物語です。



「イヌ」を中心にして「シヨジキチ、イ」と「ヨクバリチ、イ」との対比が描かれ、両者は、最後に対照的な結末を迎えます。

1911(明治44)『小供画帖 花咲か爺』
坪田仁兵衛家文書 当館寄託
C0005-02431



福井県文書館
3・4月
月替展示

資料で愉しむ ふういの春

長い冬の後の春。雪国では、その華やかさもまた格別です。桜を眺め、歌を詠み、種をまき、季節を祝う。
ふうい人も、さまざまな形で春を愉しんでいました。
展示では、ふういの春にちなんだ資料を紹介しています。

海に波に松という港町らしい背景に桜の花をあしらった敦賀港の絵はがきです。

春の金崎宮



(写真は敦賀の名所「氣比神宮」(左)と「金崎宮」(右))

桜の花に金崎宮といえば、桜の季節の「花換まつり」。明治時代の末頃、花見がきっかけではじまったといわれています。期間中は、まつりと神事、そして花見で、境内はいっそうのにぎわいをみせます。



(年未詳)「敦賀港絵はがき(袋入)」
坪田仁兵衛家文書 当館寄託
C0005-01863

福井城の南東、荒川西岸の土手には桜並木立あり、その土手の内側には桜の馬場という馬場がありました(下図は1811(文化8)「福井分間之図」(松平文庫 福井県立図書館保管 A0143-21340)より「桜之馬場」)。

1847年(弘化4)旧暦の2月28日、曇りのち晴れ。この

時の藩主は、松平慶永、20歳。城下廻りの途中で、この桜の馬場に立ち寄った慶永は、



1847(弘化4)「御用日記」
宮崎長円家文書 当館蔵
A0180-00001

殿、馬に乗る

坂井郡金津新町(現在のあわら市)の染物屋紺屋又右衛門が、旅の記念に集めた当時の植物です。
(写真は越後国北蒲原郡(現在の新潟県阿賀野市)小嶋の梅護寺「御じゅすぶさ桜」)

1777年(安永6)に「二十四輩」(にじゅうよはい、浄土真宗の宗祖

親鸞の24人の高弟)の旧跡を巡った又右衛門は、各地で植物を採集して持ち帰り、それを記念品として保管していました。

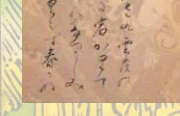
240年前の春



1777(安永6)「二十四輩参詣記念品」
吉川充雄家文書 当館蔵
C0037-00550-021

江戸時代中期の福井藩主松平吉邦(よしくに)が詠んだ短歌です。歌の題材は1月から12月までの12か月、その月々の花と鳥です。

題材の花と鳥は、その月その月を想像しながら選んだのでしょうか。



(年未詳)「昇安院様御筆花鳥」
松平文庫 福井県立図書館保管
A0143-21511

展示資料	年月日	資料群番号-資料番号 (複製本番号)
『小供画帖 花咲爺』 坪田仁兵衛家文書 当館寄託	1911年(明治44)	C0005-02431 (C2725)
「万家重宝 女用花鳥文章」 桜井市兵衛家文書 当館蔵	1729年(享保14)	N0055-00604 (N1094)
『少女歌劇タイムス』 高田富文書 当館蔵	1933年(昭和8)年4月 ほか	A0502-00087, 0098, 00110, 000111 (A3097, 3098)
「雑日記」 松平文庫 福井県立図書館保管	1915年(大正4)	A0143-21632 (複製本なし)
「農事日誌」 飯田広助家文書 当館寄託	初年は1902年(明治35) 末年は1939年(昭和14)	G0024-00118-001~020 (C0252~265, 1040, 1041)
「農稼業事抜書中之巻」 石倉家文書 福井県立図書館蔵	1819年(文政2)	A0067-00832 (A2450)
「農稼業事抜書帳中ノ巻 村々并縁上之者共へ渡方帳 外二棉雌雄苗見分ケ書渡方奥二有」 片岡五郎兵衛家文書 当館寄託	1819年(文政2) 8月19日	A0027-00019-001 (A0182)
「昇安院様御筆花鳥」 松平文庫 福井県立図書館保管	(年未詳)	A0143-21511 (複製本なし)
「東海道五十三対(石薬師)」 松田三左衛門家文書 当館蔵	(年未詳)	A0169-03426 (A3771)
「弘化四丁未歳正月ヨリ 同年三月十八日迄御用日記」 宮崎長円家文書 当館蔵	1847年(弘化4) 1月1日~3月18日	A0180-00001 (A4305)
「(二十四輩参詣記念品) 小嶋 梅護寺 御じゅすふさ桜」 吉川充雄家文書 当館蔵	1777年(安永6)	C0037-00550-021 (C2239)
「敦賀市観光地図」 坪田仁兵衛家文書 当館寄託	(年未詳)	C0005-01858 (C2598)
「桜の小枝」 個人蔵	2015年(平成27)	(なし)
「敦賀港絵はがき(袋入)」 坪田仁兵衛家文書 当館寄託	(年未詳)	C0005-01863 (C2598)
「新曲 四季の敦賀」 坪田仁兵衛家文書 当館寄託	(年未詳)	C0005-01859 (C2598)